

(第 1 回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 6 年 9 月 3 0 日
契 約 業 者 名	渡辺建設(株)
契 約 業 者 の 住 所	栃木県宇都宮市今泉新町 1 8 0 番地
工 事 の 名 称	R 5 国道 4 号矢板拡幅片岡地区改良その 1 工事
工 事 場 所	栃木県矢板市片岡地先
工 事 種 別	一般土木
工 事 概 要 (変更した内容について 記述する)	道路土工 (路体盛土工 約260m ³ 路体盛土工(ICT) 約1,200m ³ 路床盛土工(ICT) 約510m ³ 法面整形工(ICT) 約530m ²) 擁壁工 (作業土工 1式 仮設補強土壁工 約145m ²) 道路付属施設工 (道路付属物工 約530m ²) 舗装工 (アスファルト舗装工(1) 約176m ² アスファルト舗装工(2) 約44m ² アスファルト舗装工(3) 約310m ²) 構造物撤去工 (構造物取壊し工 1式 運搬処理工 1式) 仮設工 (仮橋・仮栈橋工(1) 1式 仮橋・仮栈橋工(2) 1式 橋台躯体工 1式 作業ヤード整備工 1式 工事用道路工 1式 付帯工 1式) 共通仮設費【運搬費】(仮設材運搬費 1式) 【技術管理】(保守管理(ICT) 1式)
工 期 (自)	令和 5 年 1 1 月 6 日
工 期 (至)	令和 7 年 2 月 2 8 日
変 更 前 の 契 約 金 額	3 0 0 , 3 0 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 5 6 , 7 6 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	3 5 7 , 0 6 0 , 0 0 0 円 (税込み)

変 更 理 由	1. 道路土工 現地精査の結果、掘削工 (ICT) を削除し、路体盛土工、路体盛土工 (ICT)、路床盛土工 (ICT)、法面整形工 (ICT) を数量精査 (減) とする。 2. 地盤改良工 土質試験の結果、盛土材の改良が必要ないことが判明したため、自走式土質改良工を削除する。 3. 擁壁工 現地精査の結果、作業土工、仮設補強土壁工を数量精査 (増) とする。 4. 道路付属施設工 現地精査の結果、道路付属物工を数量精査 (減) とする。 5. 舗装工 現地精査の結果、施工範囲の変更によりアスファルト舗装工 (1)、アスファルト舗装工 (2)、アスファルト舗装工 (3) を数量精査 (減) とする。 6. 構造物撤去工 現地精査の結果、上記工種の変更により構造物取壊し工、運搬処理工を数量精査 (減) とする。 7. 仮設工 現地精査の結果、覆工板を購入品に見直し、覆工板設置・撤去 [仮橋・仮栈橋] を数量精査 (増) とする。 仮橋主部材賃料期間を見直したため、仮橋上部を数量精査 (減) とする。 橋台躯体工を数量精査 (増) とし、土砂運搬先の見直しなどにより作業ヤード整備工を数量精査 (増)、工事用道路工、付帯工を数量精査 (減) とする。 8. 共通仮設費 現地精査の結果、仮設材の運搬重量変更により仮設材運搬費を数量精査 (増) とする。 現地精査の結果、地盤改良工の削除により六価クロム溶出試験費、タンクリーチング試験費を削除し、保守管理 (ICT) を数量精査 (減) とする。 9. 工期 工期は、現地精査の結果、河川協議を行う必要が生じ日数を要したことから 120 日間延伸し、契約の翌日から令和 7 年 2 月 28 日までとする。
----------------	--

(第 2 回、最終) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 2 月 2 8 日
契 約 業 者 名	渡辺建設(株)
契 約 業 者 の 住 所	栃木県宇都宮市今泉新町 1 8 0 番地
工 事 の 名 称	R 5 国道 4 号矢板拡幅片岡地区改良その 1 工事
工 事 場 所	栃木県矢板市片岡地先
工 事 種 別	一般土木
工 事 概 要 (変更した内容について 記述する)	道路土工 (路体盛土工 約1,470m ³ 、路床盛土工 約520m ³ 法面整形工 約510m ²) 排水構造物工 (作業土工 1式、側溝工 約174m、管渠工 約94m、 集水桝・マンホール工 8箇所) 舗装工 (アスファルト舗装工(1) 約176m ² 、アスファルト舗装工(3) 約48m ²) 縁石工 (縁石工 約32m) 仮設工 (仮橋・仮栈橋工(1) 1式、仮橋・仮栈橋工(2) 1式、 作業ヤード整備工 1式、交通管理工 1式) 共通仮設費【運搬費】(仮設材運搬費 1式) 【事業損失防止施設費】(家屋調査費 1式) 【安全費】(安全施設費 1式) 【技術管理費】(地質調査費 1式、 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 (ICT) 1式、BIM/CIMモデル作成費 1式、 施工状況モニタリング調査 1式、 施工形態動向調査 1式) 【営繕費】(快適トレ 1式)
工 期 (自)	令和 5 年 1 1 月 6 日
工 期 (至)	令和 7 年 2 月 2 8 日
変 更 前 の 契 約 金 額	3 5 7 , 0 6 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 1 2 , 5 4 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	3 6 9 , 6 0 0 , 0 0 0 円 (税込み)

変 更 理 由	1. 道路土工 現地精査の結果、路体盛土工を数量精査（増）とし、路体盛土工（ICT）、路床盛土工（ICT）、法面整形工（ICT）を削除し、路床盛土工、法面整形工を追加とする。 2. 排水構造物工 現地精査の結果、作業土工、側溝工、集水枡・マンホール工を数量精査（増）とし、管渠工を数量精査（減）とする。 3. 舗装工 現地精査の結果、アスファルト舗装工（1）、アスファルト舗装工（3）を数量精査（減）とする。 4. 縁石工 雨水による腐食から覆工板を保護するため、縁石工を追加とする。 5. 仮設工 仮橋主部材賃料期間を見直したため、仮橋・仮栈橋工（1）【渡河部】を数量精査（減）、仮橋・仮栈橋工（2）【工事用道路】を数量精査（増）とする。 現地精査の結果、作業ヤード整備工、交通管理工を数量精査（減）とする。 6. 共通仮設費 仮設材の運搬重量変更により、運搬費を数量精査（減）とする。 現地精査の結果、事業損失防止施設費、安全費、営繕費を追加し、技術管理費を（増）とする。 7. 工期 工期は、契約の翌日から令和7年2月28日までとし、変更しない。
----------------	---